



NEWS

VOL.
148

2009・10月発行

高Ⅱ 研修旅行

21世紀の地球と人と社会のあり方をつかむ旅 ～30年後に沈む国へ～



旅で訪れたマジュロ環礁は、太平洋に浮かぶ海蛇のように細長い環礁です。



【第1陣 7月19日(日)～7月26日(日)】
【第2陣 7月26日(日)～8月 2日(日)】

マーシャル諸島共和国

小さな国でも、その中に守るべきかけがえのないものがあります。この先少しでもこの国が人々に知られ、その財産である子どもの笑顔や自然、心のゆとりが守られてほしいです。 Ⅱ年1組 日浦 瞳子

『幸福とは何か』について考えさせられました。それは、『美味しいものを食べること』『健康でいること』『色んな事を知っていること』などがあります。しかし、ここにはそれのどれかが欠けている人もいました。でも、その人は『笑顔』でした。 Ⅱ年5組 片岡 聖

21世紀を駆け抜ける生徒にとって、地球と人と社会のあり方のヒントを凝縮してつかむことができる場所。それは、30年後には海面上昇のため水没するといわれている太平洋上の小さな国、マーシャル諸島共和国でした。水爆実験のため観光化されてこなかった美しい海を全身で体感するとともに、「あり方」「生き方」の根源的な問いをつきつけられた旅でした。

今回の研修旅行では、メッセージ性のある写真を撮影し、タイトルをつけて提出するという課題が課されました。ここには、現地にて問題性をどう構図で捉えるかを意識する学びの仕掛けがあります。以下の2枚は、高校Ⅱ年3組の岡田 英晃君によるものです。少年が大人になったときこの国は水没しています。右の写真は海面上昇のため木々が根こそぎえぐられた海に引き摺られた様子です。どんなメッセージを感じますか。



「この子の夢 壊せますか?」



「これ以上 壊せますか?」

CONTENTS

● 高Ⅱ 研修旅行	1・2
● 高Ⅰ ニュージーランド語学研修	3
● 中2 ニュージーランド交換留学	3
● 高Ⅱ 研修旅行	4
● 中1 校外学習	4
● 土曜講座	5
● 進学フォーラム	5
● 秋読書のすすめ	5
● 全国大会出場	6
● CLUB NEWS	6
● 文化祭Information	6

異文化交流

高Ⅱ 研修旅行：マレーシア・サラワクスタディーツアー



【7月25日(土)～8月4日(火)】

マレーシア サラワク州

生徒たちは半年前から事前学習を重ね、マレーシアについて知識を深めてきました。マレーシアに着いてからはアブラヤシプランテーション、合板工場を見学し、マレーシアと日本のつながりの深さを実感しました。その後、ロングハウスにホームステイし、森と共に暮らすイバンの人々の生活を体験しました。特に豚や鶏を自分の手で締めるという体験では、涙を流し胸を締め付けられるような思いをした生徒もいましたが、命をいただくという体験は充分すぎる問いかけをしてくれました。

自分の生き方や人との繋がり大切さを考える11日間だったようです。この思いが将来どのような形で花開くのか楽しみでなりません。

現地ボランティアの方の話を聞いて、私はここにいるいいのかなと考えました。この旅費があればいくつの命が助かるのだらうと思うと、その日の晩は眠れませんでした。でも、今考えると、この経験があって自分が何をすべきか分かりました。

Ⅱ年4組 藤本有香



日本米でおにぎりづくり
(イバンの人々に大好評)



村長さんの奥さんを囲んで取材に励む



森の中から ロングハウスをバックに



ロングボートでの移動

高Ⅱ 研修旅行：イギリス・語学研修と世界の友人に会う旅



【7月20日(月)～8月5日(水)】

イギリス・サセックス州 ハーストピア及びオックスフォード、ケンブリッジ、ロンドン



習字のアクティビティ

イギリスへの語学研修は当初のレンクームに始まり、現在のハーストカレッジに場所を移して以来本校からの参加は今回で12回目となります。各国からの参加生徒は年々増え続け、フランスやスペイン、イタリア、ポルトガルなどのヨーロッパの国々をはじめ、サウジアラビア、ロシアなどからもプログラム実施中延べで500人近い生徒が毎年参加しています。

生徒たちは他国の同年代の生徒と共に寮生活をし、アクティビティに参加する中で、英語のコミュニケーション能力だけでなく、様々な形で交流を深めることができました。生徒たちは全ての行事に積極的に参加し、特にタレントショーでは素晴らしいパフォーマンスで見ている人たち全てを魅了しました。

今回は特別に「日本の習字」をアクティビティに入れてもらい、本校の教員による簡単な漢字と名前をカタカナで書く講座を行いました。他国の生徒だけでなく、スタッフや各国の引率者も参加し、多少ながら日本文化をより深く知ってもらうことができました。このコースで、スタッフや他国の学生との交流を通して英語だけでなく、これから国際社会で生きていくうえでの社会性や積極性など大切なことを多く学ぶことができました。



折り紙をしながらコミュニケーション

私は今回イギリス研修旅行に参加して、内容の濃い英語の授業を受けることができ、たくさんの外国の人々と友達になって毎日とても充実した日々を過ごすことができました。そして、自分の英語力をもっと磨いていきたいと思いました。

Ⅱ年1組 高橋佐都

僕はイギリス研修旅行で、とても楽しい思い出を作れた。始めは不安だらけだったけど、多くの国の友達がたくさんできた。片言の英語でも、伝えようとする気持ちさえあれば、心を通わせることができる。イギリスに行き本当に貴重な体験ができた。

Ⅱ年3組 庭田一平



仲間と一緒にラグビー



修了式

高I ニュージーランド語学研修



【7月21日(火)～8月13日(木)】

ニュージーランド ハミルトン市

ニュージーランド北島中部に位置する自然豊かなハミルトン市の国立ワイカト大学で実施された語学研修に21名の生徒が参加しました。大学キャンパス内のLanguage Instituteで、2グループに分かれ、日常生活に必要な実用英語の学習からエッセイライティング、ドラマ作成やレポート発表、現地大学生へのインタビューなど、様々な活動を通して1日5時間の英語学習。帰宅後はホームステイ先の家族と共に過ごした3週間でした。

ホームステイを通して肌で感じるニュージーランドの人々の家庭生活、ポリネシア系先住民であるマオリの人との交流会、また週末には羊や牛が放牧された緑一面の丘陵地をバスに揺られてのフィールド・トリップ。英語の壁にチャレンジしながら、また異文化の中だからこそよく分かる日本の文化、そしていろいろな人との出会いから得られる心の豊かさを学んだ旅でした。



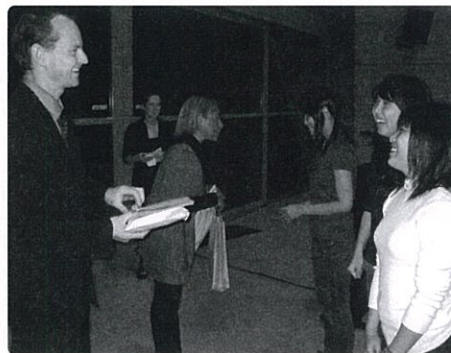
マオリの子ども達



英語クラスで発表

英語で話す時に、なかなか言い出せなかったけど、たいていの場合自分の言いたいことは伝えることができたと思う。学校での様子、日本での生活について、また両親のことなど様々な話をホストファミリーから持ちかけてくるし、逆に自分からもニュージーランドの風土、文化など自分の知りたいことを話題にして話した。問題はホストファミリーに話しかける勇気。そこは度胸で行くしかなかった。 I年2組 廣瀬 佳和

分からない所を、面倒くさがるのではなく、英語で聞いて確認し、また詳しく聞くことで知識を増やした。目標であった、「文法を守った英語」を使うようにした。単語やジェスチャーは、どうしても伝わらない時だけにして、積極的にきちんとした文を作って積極的にみんなに話しかけた。 I年3組 竹林 穂弓



修了式にて～先生方へのお礼の言葉～



ホストファミリーとのお別れ

中2ニュージーランド交換留学



【7月23日(木)～8月9日(日)】

ニュージーランド オークランド市

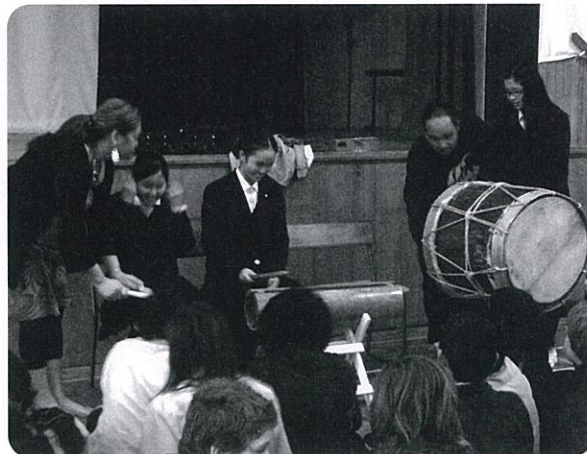
暑い日本を離れ、中学2年生20名がニュージーランド交換留学に行ってきました。約2週間ホームステイを体験しながら、パサデナ中学校で授業や学校行事に参加しました。

今年は、例年と違いニュージーランドで初めてホストファミリーと対面しました。そのため、始めはホストファミリーとのコミュニケーションに戸惑ってホームシックになった生徒もいました。しかし、勇気を出して英語を使うことで次第に自信が生まれ、日に日に生徒たちに笑顔が見られるようになりました。

ホストファミリーに「家族」として受け入れてもらい、英語を使う毎日の生活から学んだ2週間。時には言葉なしでも伝わる気持ち。英語をコミュニケーション手段とした異文化の生活で、自己表現や異文化を受容する大切さを学び、「英語は、人と人が「相手への思い」を伝えるための「道具」である」ということに気が付いたようでした。



パーティーでグループに分かれてゲーム中



マオリの民族楽器を使って演奏

Simonとホストマザーとは、初めは全く話ができてなくて、初めて来た日は放心状態になりかけるくらい不安でした。でも、目を見て話そうと努力をしたり、電子辞書を片手に伝えようと努力をしたら、話が進みました。話がスムーズに進むようになると、言いたいことが伝わっているんだと感じられて嬉しかったです。 2年1組 松原 里佳

午後3時に学校が終わった後は、家族との自由時間でした。私は、その自由時間でショッピング、友達の家、スカイタワーなど色々な場所に行きました。お礼に日本の遊びを教えてあげたり、手巻き寿司を作ってあげたりしました。手巻き寿司は、自分で選んで巻けるということで大好評でした。 2年6組 椋山 遥香



授業中の風景

自然との共生

高Ⅱ 研修旅行:屋久島・エコプログラム体験コース

【7月24日(金)～7月29日(水)】

屋久島・種子島

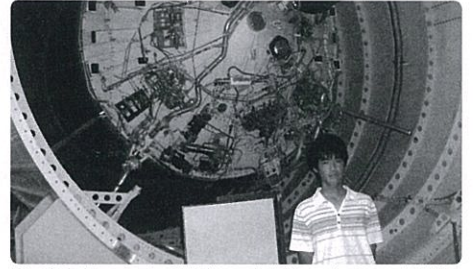


紀元杉の前で

“1ヶ月に35日雨が降る”と言われる屋久島。雨で若干プログラムが短縮された日もありましたが、おおむね順調にプログラム(安房川でのカヌー・白谷雲水峡でのトレッキング・一湊でのシュノーケリング・木工クラフト)は行われました。また、今年度初めてこのコースで種子島に渡りました。種子島宇宙センターでは実際のロケットを間近で見ることができました。5泊6日としては内容の濃い研修旅行に生徒も充実した表情でした。

屋久島のエコプログラムを通して、長い年月をかけて大樹となった木々の凄さや尊さを知ることができて、私は以前にも増して“自然との調和”について考えさせられました。とても充実したためになる6日間でした。

Ⅱ年4組 高梨 晃一



種子島宇宙センターにて飛ばなかった本物のロケットの一部を背に

苔の美しさに心を打たれたトレッキング、景色が綺麗な山で囲まれた川で清々しい気持ちになれたカヌー、様々な海底の魚たちを見ることができて充実したシュノーケリング…すべてにおいて感動できる研修旅行でした。

Ⅱ年3組 谷岡 瞭

高Ⅱ 研修旅行:北海道・カヌー体験コース

【7月20日(月)～7月25日(土)】

北海道 釧路・知床



カヌーを使っの川下り

人の手が加えられていない大自然の中を、カヌーを漕いで回っていく、そして自分の足で歩いてその自然を感じる体験をしました。カヌーは、初めてにもかかわらずインストラクターの方々の丁寧な指導により、一日目である程度自分の思うように動かせるようになりました。川下りでは各自が自分たちのペースで大自然を感じているようでした。自然の雄大さと人の温かさにもふれることのできる旅でした。

カヌーが楽しすぎてまたやりたいなど強く思いました。カヌーを漕いでいる時に見える木や空はとてもきれいだったし、風が心地よかったです。また、自然の中で過ごすことで、動物たちの生活を壊さないような行動をとるべきだと感じました。日頃行けない森にいて、いろんな動物を発見することができました。Ⅱ年4組 太田 もも



釧路湿原をバックに

いろんな人と、初めて会って、初めて話して…と初めてのことがたくさんあり、その初めて出逢った人から今までにない楽しさや喜びを学びました。最後に別れるときはとても辛いものがあったので、一期一会は喜びも悲しみもあるなと思いました。Ⅱ年5組 吉川 健太

中1校外学習

【7月24日(金)～26日(日)
28日(火)～30日(木)】

八千代校舎



完成した竹ドーム内で休憩

中1の全生徒235名を半分に分け、2泊3日ずつ八千代校舎にて校外学習を実施しました。テーマは「Yes, We can ～Change～」で、従来のプログラムとは違った新しいプログラムに挑戦しました。新しいプログラムの内容として、のみとトンカチを使用したトーマボール作り・竹ドーム作り・ペットボトルでアイスを作るゴロゴロアイス・グループで一つの夕食を作り、それらを持ち合わせて晩餐会を行うなどです。日程中はほぼ大雨の悪天候でしたが、生徒一人一人は五感を開き、海老山南の環境では学べないことを多く学んでいました。4月からの学校生活から新たに一歩も二歩も前進し、これまでの自分と変わった自分を見つげられたと思います。



トーマボール作りの様子



自然の恵みを合わせて作った晩餐会

八千代では、色々な体験をやらせてもらいました。それはどれも初体験で、全て楽しかったです。やっぱり何事も「チャレンジ」しなくては始まらないと改めて感じました。また、新たな学びもありました。これからはもっとと人の心の事を考えて生活したいです。一段と成長できました。

1年1組 竹内 咲葵

新しいカタチの学び

校長 白岩 博明

6月から「土曜講座」が始まりました。「映画研究会」「ヒロシマ講座」「フランス語」「HIP HOP DANCE」「歴史博物館巡り」など、普通の授業等では体験できない、「新しいカタチの学び」が展開されることになりました。どの講座も魅力的で、興味をそそる講座ばかりです。また、いつもとは違った表情の先生を見られるのも「土曜講座」の特徴の一つです。

中学高校のときに多様な学びの機会に出会うことはとても意義深いことです。それは新たな自分発見に繋がり、自分の軸を支える力となるからです。「土曜講座」はそんなチャンス場だと思います。

さまざまな都合で今回参加できなかった人がいると思います。来年は是非とも参加してみてください。



HIP HOP DANCE!



広島城にて(歴史博物館巡り)



山口さんのお話を聞きながら(ヒロシマ講座)

「広島近郊の歴史博物館巡り」

今日は、今まであまり気づかなかった所や、見落としていたところや初めて知ったことが多くあり、とてもいい経験になりました。また次に行くところが楽しみになってきました。 中学1年4組 永島 功大

「ヒロシマ講座」

私はヒロシマ学習に参加し、84歳の山口さんの被爆体験談を聞きました。原爆のことは知っていましたが、涙を流しながら話す山口さんの話を聞いて、改めて原爆は恐ろしく憎いものだと感じました。 高校3年2組 神村 千香子

進学フォーラム

9月5日(土)、難関入試を突破した現役大学生たちが、母校の後輩のために自分の体験した大学入試や学生生活について語ってくれました。中3から高3の生徒たちが、先輩たちの話を熱心に聞き、積極的に質問をしていました。今の自分と将来の夢を見直すきっかけになったようです。



夢を持って生きてほしいです。

自分に甘えずに、できることを徹底的にやってほしいです。

京都大学 総合人間学部1年
増田 洋佑

みんなの話を聞いて、将来何を自分がしたいのか悩んでいる人が多いと感じました。私も高校の時に進路は決まっていなかったけど、人に相談したり調べたりして決めた大学に入ってから、課外活動に積極的に取り組んで今夢を探しています。みんなも今できることに精一杯取り組む中で見つけることができたらいいと思います。

大阪府立大学 人間社会学部1年
高橋 沙織



受験はマイナスのイメージが強かったけど、今はそんなにマイナスのイメージはありません。部活もやめたからといってあまり良いことはなさそうだと思います。高校生の間は行事などやりたいことを思いっきりやって後悔のないように生きたいです。 I年5組 岡田 櫻子

先輩の話を聞いて、一番すごいなと思ったのは、朝7時半に学校に行って勉強する習慣をつける、というものでした。私は努力することが苦手なので、すごく尊敬しました。日々の積み重ねが大切と二人ともおっしゃられていたので、私も毎日少しずつでも習慣をつけていこうと思いました。 II年1組 門脇 安奈

秋読書のすすめ



もったいない
ブラネット・リンク (マガジンハウス)

2005年2月、ケニア環境副大臣のワンガリ・マータイさんは来日した時、「もったいない」という日本語を知りました。それを「地球環境を守る世界共通語」として用い、世界各地で訴えています。物を作る時や使う時などに読み返してほしい本の中の一冊です。(寄 義昭先生)



覚悟のすすめ
金本 知憲 (角川書店)

「覚悟を決めれば、どんなことでも乗り越えられる」

この言葉は現在プロ野球で活躍している金本知憲選手が初めて執筆したこの作品の中で、いつも私の心にエールを与えてくれる言葉です。チームの四番を打ち「鉄人」とよばれ、連続フル出場し続ける彼だからこそ味わった、辛く不安な思い。それを乗り越えるための幾つもの「覚悟」がある。何かに挑戦したい!自分を変えたい!そんな思いを応援し、力を分けてくれる一冊です。(大木 裕美先生)



世に棲む日々
司馬 遼太郎 (文春文庫)

この本は私が大学時代に読んだ本で感動した本です。司馬遼太郎は坂本竜馬という本も書いていますが、幕末から明治にかけての激動の時代の青年像を描くのがとてもうまい作家だと思います。中でも吉田松陰に興味を引かれたのは、ペリーの浦賀来航の時、日本中が騒いでいた時に、一人小舟に乗って、ペリーの船に乗り込みアメリカに連れて行ってくれと頼み、幕府より獄門死刑になったことです。また、萩の松下村塾で高杉晋作以下多くの有名な人を育てた事です。図書館にありますので読んでください。(田口 周二先生)



夢を絶対に実現させる方法!
原田 隆史 (日経BP社)

この本の著者でもある原田先生は、その当時荒れていた大阪の松虫中学校の陸上部を7年間で13回の日本一に導きました。その過程で生徒たちに何をさせ、何を気付かせることが重要であったかということが、この本には凝縮されています。部活だけでなく、何かに打ち込んでいる人の成功へのヒントが隠されているのではないのでしょうか。(堀江 一成先生)

全国大会出場

高校放送部

秦 つかさ (Ⅲ年2組)

第56回NHK杯全国高校放送コンテスト

7月21日(火)～24日(金)
国立オリンピック記念
青少年総合センター・NHKホール
朗読部門 入選(準決勝進出)



私はこの大会を通じて、競う相手こそ良い仲間であるということ学びました。それまで、個人として「決勝に進みたい」という目標を持っていましたが、様々な人との交流を通じて、自分と競う人たちのことも素直に応援することができ、私にとって心強い仲間となりました。同じ目標を目指す人たちがお互いに刺激し合い、高め合うことはこんなにも力になるのだと身に染みて感じる大会となりました。

高校硬式テニス部

田鍋 光平 (Ⅱ年1組)

2009近畿まほろば総体 テニス競技

8月1日(土)
榎原運動公園テニスコート



試合は一回戦で負けてしまったのですが、自分のテニスが全国でも通用するのだと自信がつかしました。また試合中の気合いでは僕に勝る選手はいませんでした。来年はもっともっと体力をつけて、全国でベスト8を狙って頑張ります!

中学陸上部

渡邊 浩陽 (3年1組) 水津 佑太 (3年3組)
池内 雅貴 (2年1組) 角山 巧 (2年1組)

第36回全日本中学校 陸上競技選手権大会

8月21日(金)～24日(月)
大分県九州石油ドーム



僕たちは陸上を続けてきて、初めて全国大会に出場しました。きつい練習を一緒にしてきた部活のメンバーや、僕たちの指導をしてくれた先生方のおかげだと思います。試合では、予選落ちしたけど、今後の人生に繋がる良い経験ができました。

CLUB NEWS

高校バドミントン部

●平成21年度広島県高校総体学校対抗戦(バドミントンの部)
日時:平成21年6月6日(土)・7日(日)
成績:男子 ベスト16
女子 第5位

高校硬式テニス部

●平成21年度第62回広島県高等学校テニス新人大会(個人戦)広島地区予選
日時:平成21年8月20日(木)・21日(金)
成績:男子ダブルス
山崎 遥平(Ⅱ-3)・中村圭佑(Ⅱ-5) 県総体出場決定
男子シングルス
濱田 健吾(Ⅰ-2) 県総体出場決定

高校水泳部

●第62回広島県高等学校総合体育大会
日時:平成21年6月6日(土)・7日(日)
成績:男子総合 第5位
男子400mメドレーリレー 第5位
男子400mフリーリレー 第5位
男子800mフリーリレー 第5位
久留 琢丸(Ⅲ-4) 男子50m自由形 第2位
男子100m自由形 第4位
原 剛輝(Ⅲ-5) 男子200m背泳ぎ 第5位

●平成21年度広島県高等学校選手権水泳競技大会
広島地区予選会
日時:平成21年6月13日(土)・14日(日)
成績:男子総合 第4位
男子400mフリーリレー 第4位
男子800mフリーリレー 第5位
男子400mメドレーリレー 第3位

久留 琢丸 男子50m自由形 第1位
男子100m自由形 第1位
原 剛輝 男子100m背泳ぎ 第2位
男子200m背泳ぎ 第1位
白石 遊(Ⅲ-3) 男子100m平泳ぎ 第4位
男子200m平泳ぎ 第4位

●平成21年度広島県高等学校選手権水泳競技大会(競泳)
日時:平成21年7月4日(土)・5日(日)
成績:男子総合 第5位
男子400mフリーリレー 第6位
男子400mメドレーリレー 第4位
男子800mフリーリレー 第5位

久留 琢丸 男子50m自由形 第4位
男子100m自由形 第7位
原 剛輝 男子100m背泳ぎ 第4位
男子200m背泳ぎ 第3位
白石 遊 男子200m平泳ぎ 第8位

●第41回広島地区高等学校秋季水泳競技大会
日時:平成21年8月29日(土)・30日(日)
成績:石田 拳一(Ⅱ-5) 男子200m自由形 第7位
植本 優里(Ⅰ-3) 女子50m自由形 第6位
女子100m自由形 第8位
石田・三吉(Ⅰ-3)・植本・内匠(Ⅰ-4)は県大会出場

高校陸上部

●平成21年度第57回広島地区夏季高等学校
陸上競技選手権大会
日時:平成21年8月4日(火)・5日(水)
成績:長谷川 貴大(Ⅰ-5) 男子走り幅跳び 第7位

中学卓球部

●平成21年度広島市中学校卓球選手権大会(広島市大会)
日時:平成21年6月6日(土)・7日(日)
結果:個人戦 田村 正範(3-2) ベスト32入り 県大会へ
●第57回 広島市中学校総合体育大会
卓球の部 佐伯区大会
日時:平成21年8月5日(水)
成績:団体戦Aチーム 第2位 広島市大会へ出場
団体戦Bチーム 第1位
●第57回広島市中学校総合体育大会
卓球の部 広島市大会
日時:平成21年8月17日(月)・18日(火)
結果:個人戦 田村 正範 ベスト32入り

中学バスケットボール部

●第57回広島市中学校総合体育大会
バスケットボールの部 佐伯区大会
日時:平成21年8月1日(土)・8月2日(日)
成績:男子の部 優勝 広島市大会に出場

中学陸上部

●平成21年度広島市中学校陸上競技選手権大会
日時:6月13日(土)・14日(日)
成績:男子
恵良 昂平(1-2) 1年男子100m 優勝

角山 巧(2-1) 2年男子100m 第2位
高学年200m 第3位
池内 雅貴(2-1) 2年男子100m 第4位
高学年200m 第6位

河野 貴大(2-4) 高学年800m 第7位
岡原 賢立(2-6) 高学年400m 第4位
渡邊 浩陽(3-1) 高学年走幅跳 第2位
渡邊・角山・池内・水津(3-3) 男子4×100mリレー 優勝

男子総合 第4位
女子
山田 桃(1-5) 1年女子100m 第5位
森本 陽子(2-1) 高学年1500m 第8位

●第36回広島県中学校陸上競技選手権大会
日時:平成21年7月22日(水)・24日(金)
成績:恵良 昂平 1年男子100m 第5位
池内 雅貴 2年男子100m 第1位
角山 巧 2年男子100m 第3位
角山 巧 共通男子200m 第4位
池内 雅貴 共通男子200m 第7位
渡邊・角山・池内・水津 共通男子4×100mリレー 第3位
男子総合 第2位

●第55回全国中学校通信陸上競技大会
日時:平成21年8月1日(土)
成績:池内 雅貴 2年男子100m 全国第4位

●第43回中国中学校陸上競技選手権大会
日時:平成21年8月8日(土)・9日(日)
成績:池内 雅貴 2年男子100m 第2位
角山 巧 2年男子100m 第5位

●第36回全日本中学校陸上競技選手権大会
日時:平成21年8月21日(金)～24日(月)
成績:渡邊 浩陽・角山 巧・池内 雅貴・水津 佑太
男子4×100mリレー出場

高校放送部

●第50回高校放送コンテスト広島地区大会
日時:平成21年6月7日(日)
成績:朗読部門 入賞 秦 つかさ(Ⅲ-2) 広島県大会出場
●第56回NHK杯全国高校放送コンテスト第50回広島県大会
日時:平成21年6月21日(火)
成績:朗読部門 第3位 秦 つかさ
広島県代表として全国大会に出場
●第56回NHK杯全国高校放送コンテスト
日時:平成21年7月21日(火)～24日(金)
成績:朗読部門 入選 秦 つかさ

文化祭Information

今回の文化祭テーマは『Souvenir』です。このテーマには「文化祭を通して、多くの人に様々な思い出をつくってもらいたい」という意味が込められています。文化祭に来てくださった方たちにたくさんの思い出を持ち帰っていただき、自分たちにも記念品を残すことができるような文化祭にしていきたいと思います。

	日 時	公開内容	場 所
第1日目	11月13日(金)	校内発表会	本校体育館
第2日目	11月15日(日)	一般公開	本校校舎・体育館・グラウンド

※一般の皆様への公開は11月15日(日)となります。ご来場をお待ちしております。

